

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団（くにたち市民芸術小ホール）
公演団体名	公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団（くにたち市民芸術小ホール）

内容
<ul style="list-style-type: none">・メインプログラムの演出家が主指導者となり、学校の規模や地域の特性に合わせたワークショップを行います。・コミュニケーションゲームを行い、リラックスして鑑賞できるようにします。・メインプログラムの音楽劇の物語をより理解できるように、演劇ワークショップの手法を使い鑑賞の準備をします。・地域の特性をテーマに、メインプログラムの中で児童が参加する場面を一緒につくり、練習をします。

タイムスケジュール（標準）
到着：8時 → 仕込み：8～10時 → ワークショップ：10時30分～12時

派遣者数
6名（演出、出演者、映像、舞台監督、照明、制作）

学校における事前指導
今のところ特にありません。

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団（くにたち市民芸術小ホール）
公演団体名	公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団（くにたち市民芸術小ホール）

演目

小さな劇場 太陽のタネ

作・演出・美術：川口智子（演出家）
出演：新野将之（パーカッショニスト）
映像プラン：北川未来（映画監督）
舞台監督：横山弘之（アイジャクス）
照明プラン：木原立春（アイジャクス）
企画・制作：斉藤かおり／くにたち市民芸術小ホール

公演時間（ 80 ）分 ※短縮調整可能

派遣者数

6名（演出、出演者、映像、舞台監督、照明、制作）

タイムスケジュール（標準）

到着：8時 → 仕込み：8～10時（→ ワークショップ：10時30分～12時）
→ 本番：13時-14時30分 → 撤去：15時～17時 → 退出：17時

実施校への協力依頼人員

・ 設営時に、電源の場所・暗幕の設置方法等をお教えてください。1～2名

演目解説

【あらすじ】

一粒のタネが、ぽとんと空から落ちてきた
小さな小さなタネは、大きな世界へ旅に出る
旅の途中、雨が降ったり、風が吹いたり、それから大きな〇〇が現れたり！
旅の終わり、小さな小さなタネが出会ったのは・・・？！

【みどころ】

セリフはなく、いろいろな音色の打楽器を使って、タネの旅する情景を音で楽しむ作品です。

出演者は1人だけですが、劇場空間が自然界の営みや、輝く太陽を思わせ、眼、耳、振動などの体感を使って子どもたちの想像力をかきたてる作品です。

小さな舞台でアーティストに親しみを持つことのできる距離で上演するため、子どもたちがリラックスして作品を楽しむことができます。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

- ・作品の中に、子どもたちがパーカッションと掛け合いを行う、コール&レスポンスの場面があります。
- ・事前のワークショップで、子どもたちが演劇的に演目に参加する場面をつくります。

児童生徒とのふれあい

- ・ワークショップ・公演を通じて、ひとりひとりが自分の役割を実感できる作りとします。そのために、ワークショップ時には児童個人と指導者が1対1で話をする（コミュニケーションをとる）瞬間をつくります。